

自ら**学ぶ力**をはぐくむ  
豊かな**心**をはぐくむ  
健康な**体**をはぐくむ  
郷土**愛**をはぐくむ

# 県北プライド



「夢をかなえる教育」「笑顔あふれる学校」をめざして 校長 阿部 央

## P T A 総会あいさつにかえて ～子育て四訓～

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業に対しまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございますのことに感謝申し上げます。

4月28日(火)の登校日には、短時間ではありましたが生徒たちの元気な姿を見ることができ、少し安心いたしました。各学級では、担任が臨時休業中の課題の実施状況を確認したり、今後の過ごし方等について再度話をしました。保護者の皆さまにはご心配をおかけしますが、引き続きお子さまの健康管理等についてよろしくお願いいたします。

さて、4月24日(金)に予定しておりましたP T A総会が中止となってしまいました。本来であれば総会の時にお話しさせていただく予定でしたが、紙面にてご挨拶をさせていただきます。

4月6日に新生徒61名を迎え本年度がスタートできたと思った矢先、再び臨時休業の措置を取らざるを得ない状況になってしまいました。保護者の皆様には何かとご不便をおかけしておりますが、まずは子どもたちの命を最優先に考え、対応していく必要があります。ご理解とご協力をお願いいたします。

私から大きく二つほどお話しします。一つ目は、新年度がスタートして子どもたちは10日間ほどしか学校生活を送っていませんが、子どもたちに次のことを尋ねてほしいと思います。①授業や学級生活で自分の考えや意見を言えたか。②学級の中に、自分の考えや意見を受け入れてくれる雰囲気があるか。

「自分の考えや意見が言えた。」「自分の考えや意見を受け入れてくれる雰囲気がある。」と答えた場合は、上手く新年度のスタートが切れたものと思います。はっきりしない場合は、話をよく聞いてあげて、何か変だと思われたら、担任や学年主任に遠慮なくご相談ください。

二つ目は、子どもへの関わり方です。中学生の時期は自立への準備期間です。子どもを多面的に見てあげてください。得意・不得意は誰にでもあります。できていることを具体的にほめてあげてください。新たなことにチャレンジさせてください。自己決定させる場を与えてください。子育てでよく言われる言葉があります。「乳児はしっかり肌を離すな 幼児は肌を離せ手を離すな 少年は手を離せ目を離すな 青年は目を離せ心離すな」

中学生はまさに青年の入り口、心離すなの時期にあたります。生意気な態度をとることがあっても、子どもたちはお父さん、お母さん、家族のみんなのことが大好きです。ご家庭が子どもたちの心のよりどころです。

中学生の時期に子どもたちは家の外で数多くの体験をします。学校で先生に叱られたり、友達と喧嘩したり、部活動の大会で負けたり、学習成績が落ち込んでしまったり……。その度に子どもたちの心は少なからず傷つきます。悲しさや悔しさを心にいっぱいため込んで帰宅する日もあると思います。そんな時は、ご家庭ではぜひ温かく子どもたちに接し、幸福感にたっぷり浸らせてあげてください。子どもは悲しみや苦しみの数が幸福感やうれしさの数を上回ってはならないと思います。



中学校3年間は瞬く間に過ぎてしまいます。しかし、心も体も一番成長する時期です。また、変化の激しい時期でもあります。そんな時期であるからこそ、学校と家庭が手を携えて教育にあたるのが何よりも大切であると考えます。本年度1年間、よろしくお願い申し上げます。